

福 事 研

令和元年(2019年)8月30日発行

平成31年度総会・支部研修担当者研修会

令和元年6月14日(金)、福岡市「都久志会館」において、代議員(支部研修担当者)109名が出席し、平成31年度福事研総会及び支部研修担当者研修会が開催されました。

吉備会長挨拶

みなさん、こんにちは。本日は福事研総会及び研修会に参加いただきありがとうございます。



今年は10連休のゴールデンウィークがあり、それにより様々な行事や締め切り等がずれた関係で慌ただしい4月、5月をお過ごしになったのではないかと思います。6月に入り少し落ち着いてきたかなというところですが、日々の忙しい中に本日参加いただき重ねてお礼申し上げます。

さて、福事研は今年、設立20年目を迎えました。後ほどお話しさせていただきますが、2月に



は20周年の記念大会を開催することを予定しております。また、この4月から規約改正に伴いそれぞれの地区には大変ご苦労をおかけしましたが、研究部員を選出していただき、新研究部が発足したところです。まだ慣れないフレッシュなみなさんが運営していく研究部です。各地域においても暖かく支えていただければと思います。そして、この新しい研究体制が今後続いていく中で、福事研の研究の広がりというものこれから求められていきます。是非、各地区におかれましても地域に根ざした活動か

福岡県小中特別支援学校事務職員研究会

事務局 嘉麻市立山田中学校
TEL 0948-52-0077
FAX 0948-52-0177
発行人 吉 備 昌 彦

ら、事務職員のあるべき姿、子どもたちのために何ができるかということをしっかり考えながら、研究が今後も深まっていくことを望んでいます。

それでは、本日は総会、研修会と長時間に渡りますが、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

平成31年度福事研総会

久留米市支部の信國諒真さん、北九州市支部の野口 綾さんを議長に選出し、議長挨拶、



資格確認の後、平成30年度事業報告・会計決算報告・監査報告、平成31年度役員に関する件、(承認後新役員の紹介)・事業計画・会計予算、そして規約改正に関する件が審議され、いずれも原案どおり承認されました。なお、規約改正に関する件は、会則第5条の会員の勤務する学校種別に「義務教育学校」を加えるというもの

です。また、今年度は福事研設立20年目にあたるため、本年度の研究大会を設



立20周年記念大会として、令和2年2月7日(金)に開催することが報告されました。

総会終了後、退任役員(池田和広さん、原田健吾さん、下見祥子さん、永野 修さん、境 恒平さん、網田雅志さん)が紹介されました。6名の皆様、大変お疲れ様でした。深く感謝申し上げます。

支部研修担当者研修会

「事務職員の元気は学校の輝きにつながる」

先生の幸せ研究所 所長 澤田 真由美 氏
株式会社アテンド

ワークライフ・バランスコンサルタント 福成 有美 氏

講師のお二人には、平成29年度福事研第20回研究大会第1分科会でもお話をいただきました。その際「つかさど



る事務職員とは」という内容で、事務職員のみなさんからの意見を集約してホワイトボードに書き上げていくという場を設けました。今回、事務職員の姿を考えていくときに、2年前みなさんはどう考えていたのかを見ることができるよう後方にその際に書かれたものを掲示しました。

まず、事務職員の視点や情報は貴重であるということが話されました。

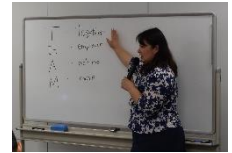


澤田氏は、教師は目の前の子どもたちをしっかりと見ており、事務職員はそれらの動きを見ているという大きな違いがある。このように動きを学校としてという見方ができるのがつかさどる事務職員ではないかと思うと述べられました。一方、福成氏は2年前にファシリテーター的な役割を担うのがつかさどる事務職員だなと感じたそうです。次にグループとチームについて話しがなされました。最初、集団が形成され（形成期）、意見等がぶつかり合い（混乱期）、共通の規範が形成され（統一期）最終的にチームとして成果が出る（機能期）という流れの中で、前半がグループで後半がチームといえるとの話をされました。そして、自分の



学校はグループなのか、チームなのかを考える時間が取られ、会場から数名が自分の学校の状況を話されました。グループは正しく仕事はしているが、それぞれ大切にしたいもの、見えているところが違っており、共

通の認識ができていない。チームになっていくということは、目標に向かって力を出し合いながら一つの方向に向か



い動いていくことと言えるそうです。学校においては、大切にしたいところ（目標）はたくさんあり、それは教員が見ているところだけでなく、事務職員からの視点や俯瞰して見るということも大きな力になっていくとの話がなされました。そして、視点が違う人たちを俯瞰して見て、体制を考えどう繋いでいくかコミットしていくことができる存在であるのも事務職員と考えますと加えられました。

学校に関わる人々、教育委員会や職員、保護者や地域の方、学校評価委員や民生委員などの人たちと大切なものを共通認識し、同じ方向を向くことができれば「チーム学校」というものが生まれていくとの考えが述べられました。そうした組織化の過程で重要なのは混乱期であり、そこで本気で本音で話すことを通して強い組織、チームになっていき、その過程で学校において最も俯瞰的になれる事務職員がファシリテーター的な役割を担うことが求められていくのではないかとのことです。そこでキーワードになるのが「つなぐ」ということであり、事務職員が何かをやるということではなく、事務職員は、見えているもの、人、考えを繋ぐ役割を持つことが大切とのことです。ファシリテーターとは成長促進剤、つまり組織を成長、促進していく役割を担う人、言い換えれば、何かをしやすくする人と考えられ、その何かとは、組織の中で大切な3つ「言える」「聴ける」



「見える」とのことです。学校がチームとしての総合力を

発揮するためには、組織の中で言いやすく、聴きやすく、見えやすくするつなぐ役目を持ったファシリテーター＝事務職員の存在が鍵となり、それこそが「つかさどる」ことではないかとのことです。チーム学校のキーマンはファシリテーターで、それは違う視点でものを見ることが出来る（俯瞰した視点で

みることができる) 事務職員とのことです。

つぎに、事務職員からのつぶやきが、先生方からすると目からうろこであったという事例を話されました。それは、「電話の内容をホワイトボードに書いておきますか?」と「校内にいて席を外すときは居場所がわかるようにしませんか?」というものでした。前者は折り返しの電話の対応が容易なる、後者は



探し回る必要がなくなる等のメリットがあり、先生方からするとなるほどの感想があったそうです。それと似たようなことにみなさん日頃から気づいているのではないかと、また、そうした日頃の気づきをつぶやくことは学校にとって貴重で大事な役割にもなるという話がなされました。また、「アイデア共有ボード」というものを事務室に設置し、日頃から思っているがわざわざ口に出すまでもないというものを書き出してもらうことで、アイデアの種となるようなものを集約しているという事例も紹介されました。特に予算関係についての購入希望等の記載は、担当者(学年や教科)以外の者も把握でき、まさに事務室がつなぐ役割を担っているというものでした。その他にも、「使わないものを事務室に返しませんかカゴ」の設置の事例が紹介されました。消耗品や備品が学期末等に各教室から集中して返されて混乱することがないように、定期的にそのカゴを各教室に回しているというものです。教員側からすれば、カゴに入れるだけで返しに行く手間が省ける、事務職員側としては、適当な場所に返された場合のさらなる片付けや、正確な在庫管理ができないということがなくなるというメリットがあるということです。また、誰もがよく使うであろう事務用品を職員室の机の側面に店舗のように陳列するような形で見える化し、すぐ取れるように置いておくことにより消耗品の無駄遣いの軽減につながった事例や、職員会議や研修で使用する資料等は基本的にデータで閲覧し、紙ベースの資料はファイルにして誰でも見える場所に保管することにより個人持ちの資料を最小限

にした事例が紹介されました。他にも、立って会議するテーブルの設置、使われていない中庭にテーブルを設置し、憩いの場や会議の場や昼食スペースにするなどの様々工夫された事例が紹介されました。

講話の最後には、つなぐ、つながることの重要性について、学校でアクションを起こす前の作戦会議をできるのは事務職員同士であり、共同実施の場は進捗報告もでき、共有や助言もあり、さらに一歩進むことができる対話の場であること。また、事務職員が教員の出張における復命を文書から口答にできるよう学校管理規則の改正に関わった事例を挙げて、学校と教育委員会をつなぐことに関わることができることなどについて話されました。校内で誰かと誰かをつなぐ、気づきを形にしていこうという視点が重要で、さらに学校と教育委員会をつなぐ、事務職員同士でつながるといように視野を広げて



考えると、もっと可能性は広がると思います。では、「あなたの一歩目は?(どのような行動を起こしますか?)」との質問が参加者に投げかけられ、「その一歩はどんなことでもいいので、具体的なものであり、行動レベルにあることが重要です。」と話され研修は終了しました。



平成31年度(2019年度)役員

役職名	氏名	所属	
会長	きび まさひこ 吉備 昌彦	嘉麻市立 山田中学校	
副会長	まはら しんじ 馬原 伸司	川崎市立 川崎中学校	
副会長	こうや ひろしげ 神谷 博重	遠賀町立 遠賀中学校	
副会長	ひろた たかと 廣田 隆登	柳川市立 柳河小学校	
副会長	はしもと きくよ 橋本 喜久代	福岡市立 鳥飼小学校	
副会長	もり さとし 森 聡	北九州市立門司 総合特別支援学校	
事務局長	しばた まさはる 柴田 正治	大野城市立 平野中学校	
事務局次長	やまぐち のりこ 山口 紀子	八女市立 長峰小学校	
事務局員	もり けんいち 森 賢一	北九州市立 黒崎中央小学校	
事務局員	とくなが もととき 徳永 元喜	北九州市立 霧丘中学校	
事務局員	はたの やすの 波多野 康乃	芦屋町立 芦屋東小学校	
事務局員	じくはら なるみ 竺原 奈留美	直方市立 直方西小学校	
事務局員	はなむら ゆうた 花村 雄大	大木町立 大溝小学校	
事務局員	わだ たいぞう 和田 泰三	飯塚市立 穂波東中学校	
監事	ひだ みちよ 肥田 美千代	行橋市立 仲津小学校	
監事	やまぐち だいき 山口 大貴	小竹町立 小竹西小学校	
監事	やかべ みか 矢ヶ部 美香	みやま市立 大江小学校	
理事	京築地区	やおか きくこ 矢岡 紀久子	豊前市立 合岩中学校
	北九州地区	たにひら よしひさ 谷平 佳久	遠賀町立 島門小学校
	筑豊地区	くまがい としひこ 熊谷 紀彦	添田町立 添田小学校
	福岡地区	くわはら こうへい 桑原 幸平	篠栗町立 篠栗小学校
	北筑後地区	もりなが りさ 森永 梨沙	久留米市立 宮ノ陣中学校
	南筑後地区	こんどう ゆかり 近藤 ゆかり	筑後市立 二川小学校
	福岡市	よしだ さゆり 吉田 紗佑里	福岡市立 高木小学校
事務局	ひりき まさし 日力 雅史	北九州市立 二島小学校	

平成31年度 年間事業スケジュール

月	活動項目	活動の細目
4	理事選出 監事会 4/13 研究推進委員会 4/13 《理事会》	平成30年度会計監査 平成31年度役員・理事確認 平成31年度総会の計画審議 平成30年度事業報告案審議 平成30年度決算報告 平成31年度事業計画案審議 平成31年度予算案審議
5	拡大研究推進委員会 5/15 (評議員・支部代表者会) 福事研20周年記念行事5/15 実行委員会	総会議案書提案 新採・未加入者の加入勧誘 総会・支部代議員の選出 全事研会報の配布 全事研5月期調査の提案 役員候補者選考委員選出 記念誌編纂・祝賀会計画
6	福事研20周年記念行事6/14 実行委員会 支部研修担当者研修会6/14 (第21回総会)	記念誌編纂・祝賀会計画 総会開催・運営 事業・決算報告、事業計画等 会費納入依頼 研修会の運営
8	全事研総会 8/7 第51回全事研研究大会 (岡山大会)8/8~9	代議員総会参加 全事研大会参加 会報「福事研」(39号)の発行
9	九州地区事務研究会 役員研修会(熊本市) 9/6	九州地区事務研究会の対応 全事研会報の配布
10	福事研20周年記念行事 実行委員会 研究推進委員会 《理事会》	記念誌編纂・記念行事計画 20周年記念大会の計画立案 会報「福事研」(40号)の発行
11	福事研20周年記念行事 実行委員会 役員候補者選考委員会	記念誌編纂・記念行事計画 全事研11月期調査集約依頼 令和2年度役員候補者の選考
12	福事研20周年記念行事 実行委員会 研究推進委員会 《理事会》 役員候補者選考委員会	記念誌編纂・記念行事計画 20周年記念研究大会の 計画・業務分担審議 令和2年度役員候補者の選考
1	福事研20周年記念行事 実行委員会 研究推進委員会 《理事会》 役員候補者選考委員会	記念誌編纂・記念行事(祝賀会 等)業務分担審議 20周年記念研究大会の 計画・業務分担審議 令和2年度役員候補者の選考 全事研セミナー参加者報告 全事研会報の配布
2	福事研20周年記念研究大会 記念行事(祝賀会等)2/7 役員候補者選考委員会2/7 第26回全事研セミナー2/14 福事研20周年記念行事 実行委員会 研究推進委員会《理事会》	20周年記念大会の開催運営 記念行事(祝賀会等)の運営 令和2年度役員候補者の選考 記念誌編纂・記念行事反省 平成31年度研究のまとめ
3	研究推進委員会《理事会》	平成31年度研究のまとめ 令和2年度計画の立案 会報「福事研」(41号)の発行